

十勝川中流部市民協働会議 報告会

平成26年3月15日

帯広開発建設部 帯広河川事務所



報告内容

- 川づくり(案)の進捗状況
- 次年度事業計画予定(十勝川中流部)

川づくり(案)について

十勝川中流部川づくりワークショップ(H22.7-H24.3) 川づくり(案)

撮影:平成23年10月
作成:平成25年3月9日 第2回十勝川中流部川づくり報告会



【音更川合流点より上流】

合意事項

- 左岸側の樹林を伐採し草原環境へ
- 連続性確保のため河岸の樹木幅10m程度を保全
- 中洲や河道内の河原は現状を維持し、掘削は行わない

KP 57.4
左岸河畔林を伐採
河岸側の樹木は保全(10m程度)
音更町

【音更川合流点下流①】

合意事項

- 左岸側(音更側)の樹林を伐採し、草原環境へ(河岸側10m程度の樹木及びケショウヤナギを含む大型樹林は保全)
- 右岸側(帯広側)の河岸を平水位で掘削(幅30~40m程度)

ケショウヤナギを含む大型樹林を保全(幅30m程度)
樹木を伐採
音更町

帯広市側を平水位で掘削(幅30~40m程度)
音更町

【相生中島上流左岸】

合意事項

- 左岸側(音更側)の河岸を、樹木の連続性に配慮しつつ平水位で掘削。
- 樹林の分断される箇所では、連続性を確保するため樹林再生の試行的な取り組みを実施する。

【施工直後】 → 【施工後約10年のイメージ】

野生動物の移動に配慮し樹林の連続性を確保
音更側を掘削 現状の草原環境を保全

表土を除去し、樹木種子の活着を促す
樹林の再生
音更町

【相生中島より下流】

合意事項

- 中洲については、樹林化している部分(中洲の半分程度)を平水位で掘削し、河原環境の形成により再樹林化を防止する。
- 右岸側にシウドウツバメの集団営巣地があるため、左岸側を平水位で掘削する。

左岸と中洲を平水位で掘削
音更町

河原化
音更町

左岸を平水位で掘削
音更町

【音更川合流点より下流②】

合意事項

- 中洲を、左岸側半分程度を残して平水位で掘削。枝流は保全する。
- 併せて、河原環境の形成を図るとともに再樹林化を抑制する。

枝流を保全
音更町

右岸を平水位で掘削 中洲を平水位で掘削
音更町

【相生中島上流右岸】

合意事項

- 右岸の河岸側の樹林を幅50mで保全し、その背後地の樹林を伐採。
- 再樹林化を防止するために、掘削して湿地環境を形成する。

河岸側を50m幅で保全
樹木伐採 樹林の連続性を確保
音更町

湿地環境とし再樹林化を防止 音更側を掘削
音更町

【メン川合流点下流】

合意事項

- メン川と十勝川の合流部は、サケ稚魚の速やかな降下を考慮し、平水位で掘削するとともに、メン川沿いの樹木は保全する。
- 平均年最大水位程度で右岸高水敷を掘削するとともに、再樹林化を防止するため、地域との調整を図った上で、凹凸を付けて多様な湿地を含む環境をつくる
- 施工中の十勝川温泉側からの景観を考慮し、中洲の樹林の一部を10m程度の幅で残しながら施工する。

川側河畔林は全て保全堤防側は約10m幅で保全
平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出
音更町

河床掘削
音更町

【途別川合流点下流①】

合意事項

- 河床部を掘削する。
- 右岸側の高水敷については、現況の水域が極力残されるよう、水域周辺の樹木の内、川側を全て保全、堤防側を幅10mで保全し、その他の部分を平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出する。

草原環境とする
音更町

平均年最大水位 平水位
音更町

【十勝川温泉より下流】

合意事項

- 樹林を伐採後、掘削して浅場環境を形成する。
- 十勝エコロジーパーク下流の樹林の一部を疎林化する。

※具体的な実施については、今後、十勝エコロジーパークや北海道と調整

河畔林伐採
音更町

浅場環境の形成 河床及び右岸高水敷掘削
音更町

伐開区域凡例	掘削部凡例
密→疎	河床掘削
伐開	平水位掘削
	高水敷掘削



川づくり(案)進捗状況(H26予定含む)

十勝川中流部川づくりワークショップ(H22.7-H24.3) 川づくり(案)

撮影:平成23年10月
作成:平成25年3月9日 第2回十勝川中流部川づくり報告会

【音更川合流点より上流】

合意事項

- 左岸側の樹林を伐採し草原環境へ
- 連続性確保のため河岸の樹木幅10m程度を保全
- 中洲や河道内の河原は現状を維持し、掘削は行わない

KP 57.4 左岸河畔林を伐採
河岸側の樹木は保全(10m程度)
帯広市 音更町

【音更川合流点下流①】

合意事項

- 左岸側(音更側)の樹林を伐採し、草原環境へ(河岸側10m程度の樹木及びケショウヤナギ林を含む大型樹林は保全)
- 右岸側(帯広側)の河岸を平水位で掘削(幅30~40m程度)

KP 55.2 ケショウヤナギを含む大型樹林を保全(幅30m程度)
樹木を伐採
帯広市側を平水位で掘削(幅30~40m程度)
帯広市 音更町

【相生中島上流左岸】

合意事項

- 左岸側(音更側)の河岸を、樹木の連続性に配慮しつつ平水位で掘削。
- 樹林の分断される箇所では、連続性を確保するため樹林再生の試行的な取り組みを実施する。

【施工直後】 ▶ 【施工後約10年のイメージ】

H25完了

野生動物の移動に配慮し樹木の連続性を確保
表土を除去し、樹木種子の活着を促す
樹林の再生
音更側を掘削 現状の草原環境を保全
帯広市 音更町

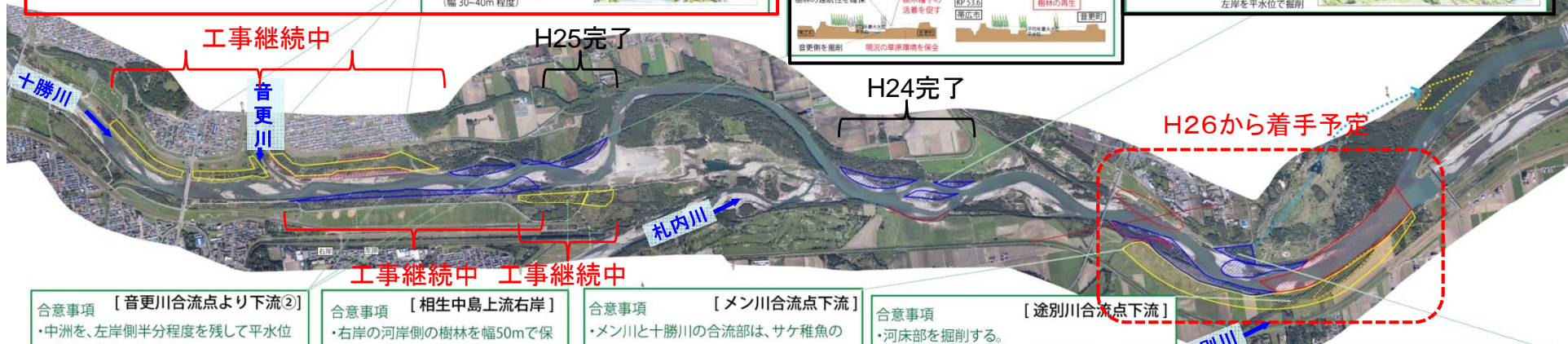
【相生中島より下流】

合意事項

- 中洲については、樹林化している部分(中洲の半分程度)を平水位で掘削し、河原環境の形成により再樹林化を防止する。
- 右岸側にショウドウツバメの集団営巣地があるため、左岸側を平水位で掘削する。

H24完了

左岸と中洲を平水位で掘削
河原化
左岸を平水位で掘削



【音更川合流点より下流②】

合意事項

- 中洲を、左岸側半分程度を残して平水位で掘削。枝流は保全する。
- 併せて、河原環境の形成を図るとともに再樹林化を抑制する。

KP 54.4 枝流を保全
右岸を平水位で掘削 中洲を平水位で掘削
帯広市 音更町

【相生中島上流右岸】

合意事項

- 右岸の河岸側の樹林を幅50mで保全し、その背後地の樹林を伐採。
- 再樹林化を防止するために、掘削して湿地環境を形成する。

KP 53.6 河岸側を50m幅で保全
樹木伐採 樹木の連続性を確保
帯広市 音更町
湿地環境とし再樹林化を防止 音更側を掘削

【メン川合流点下流】

合意事項

- メン川と十勝川の合流部は、サケ稚魚の速やかな降下を考慮し、平水位で掘削するとともに、メン川沿いの樹木は保全する。
- 平均年最大水位程度で右岸高水敷を掘削するとともに、再樹林化を防止するため、地域との調整を図った上で、凹凸を付けて多様な湿地を含む環境をつくる
- 施工中の十勝川温泉側からの景観を考慮し、中洲の樹林の一部を10m程度の幅で残しながら施工する。

帯広市 音更町

【途別川合流点下流】

合意事項

- 河床部を掘削する。
- 右岸側の高水敷については、現況の水域が極力残されるよう、水域周辺の樹木の内、川側を全て保全、堤防側を幅10mで保全し、その他の部分を平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出する。

川側河畔林は全て保全堤防側は約10m幅で保全
平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出
十勝エコロジーパーク
帯広市 幕別町

【十勝川温泉より下流】

合意事項

- 樹林を伐採後、掘削して浅場環境を形成する。
- 十勝エコロジーパーク下流の樹林の一部を疎林化する。

※具体的な実施については、今後、十勝エコロジーパークや北海道と調整

河畔林伐採
浅場環境の形成
平均年最大水位 平水位
音更町 幕別町



現況写真1(樹木伐採)

学生と連携し草地形成を進める予定(継続)



平成25年10月撮影

川づくり(案)進捗状況(H26予定含む)

十勝川中流部川づくりワークショップ(H22.7-H24.3) 川づくり(案)

撮影:平成23年10月
作成:平成25年3月9日 第2回十勝川中流部川づくり報告会

合意事項 [音更川合流点より上流]

- 左岸側の樹林を伐採し草原環境へ
- 連続性確保のため河岸の樹木幅10m程度を保全
- 中洲や河道内の河原は現状を維持し、掘削は行わない

KP 57.4 左岸河畔林を伐採
河岸側の樹木は保全(10m程度)
音更町

合意事項 [音更川合流点下流①]

- 左岸側(音更側)の樹林を伐採し、草原環境へ(河岸側10m程度の樹木及びケショウヤナギ林を含む大型樹林は保全)
- 右岸側(帯広側)の河岸を平水位で掘削(幅30~40m程度)

KP 55.2 ケショウヤナギを含む大型樹林を保全(幅30m程度)
樹木を伐採
音更町
帯広市側を平水位で掘削(幅30~40m程度)

合意事項 [相生中島上流左岸]

- 左岸側(音更側)の河岸を、樹木の連続性に配慮しつつ平水位で掘削。
- 樹林の分断される箇所では、連続性を確保するため樹林再生の試行的な取り組みを実施する。

【施工直後】→【施工後約10年のイメージ】

H25完了

KP 53.6 野生動物の移動に配慮し樹木の連続性を確保
表土を除去し、樹木種子の活着を促す
樹林の再生
音更町

合意事項 [相生中島より下流]

- 中洲については、樹林化している部分(中洲の半分程度)を平水位で掘削し、河原環境の形成により再樹林化を防止する。
- 右岸側にシヨウドウツバメの集団営巣地があるため、左岸側を平水位で掘削する。

H24完了

KP 50.6 左岸と中洲を平水位で掘削
河原化
左岸を平水位で掘削



合意事項 [音更川合流点より下流②]

- 中洲を、左岸側半分程度を残して平水位で掘削。枝流は保全する。
- 併せて、河原環境の形成を図るとともに再樹林化を抑制する。

KP 54.4 枝流を保全
右岸を平水位で掘削 中洲を平水位で掘削

合意事項 [相生中島上流右岸]

- 右岸の河岸側の樹林を幅50mで保全し、その背後地の樹林を伐採。
- 再樹林化を防止するために、掘削して湿地環境を形成する。

KP 53.6 河岸側を50m幅で保全
樹木伐採 樹木の連続性を確保
音更町
湿地環境とし再樹林化を防止 音更側を掘削

合意事項 [メン川合流点下流]

- メン川と十勝川の合流部は、サケ稚魚の速やかな降下を考慮し、平水位で掘削するとともに、メン川沿いの樹木は保全する。
- 平均年最大水位程度で右岸高水敷を掘削するとともに、再樹林化を防止するため、地域との調整を図った上で、凹凸を付けて多様な湿地を含む環境をつくる
- 施工中の十勝川温泉側からの景観を考慮し、中洲の樹林の一部を10m程度の幅で残しながら施工する。

KP 47.8 草原環境とする
平均年最大水位 平水位
音更町 帯広市

合意事項 [途別川合流点下流]

- 河床部を掘削する。
- 右岸側の高水敷については、現況の水域が極力残されるよう、水域周辺の樹木の内、川側を全て保全、堤防側を幅10mで保全し、その他の部分を平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出する。

KP 46.2 川側樹林は全て保全堤防側は約10m幅で保全
平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出
音更町 帯広市

合意事項 [十勝川温泉より下流]

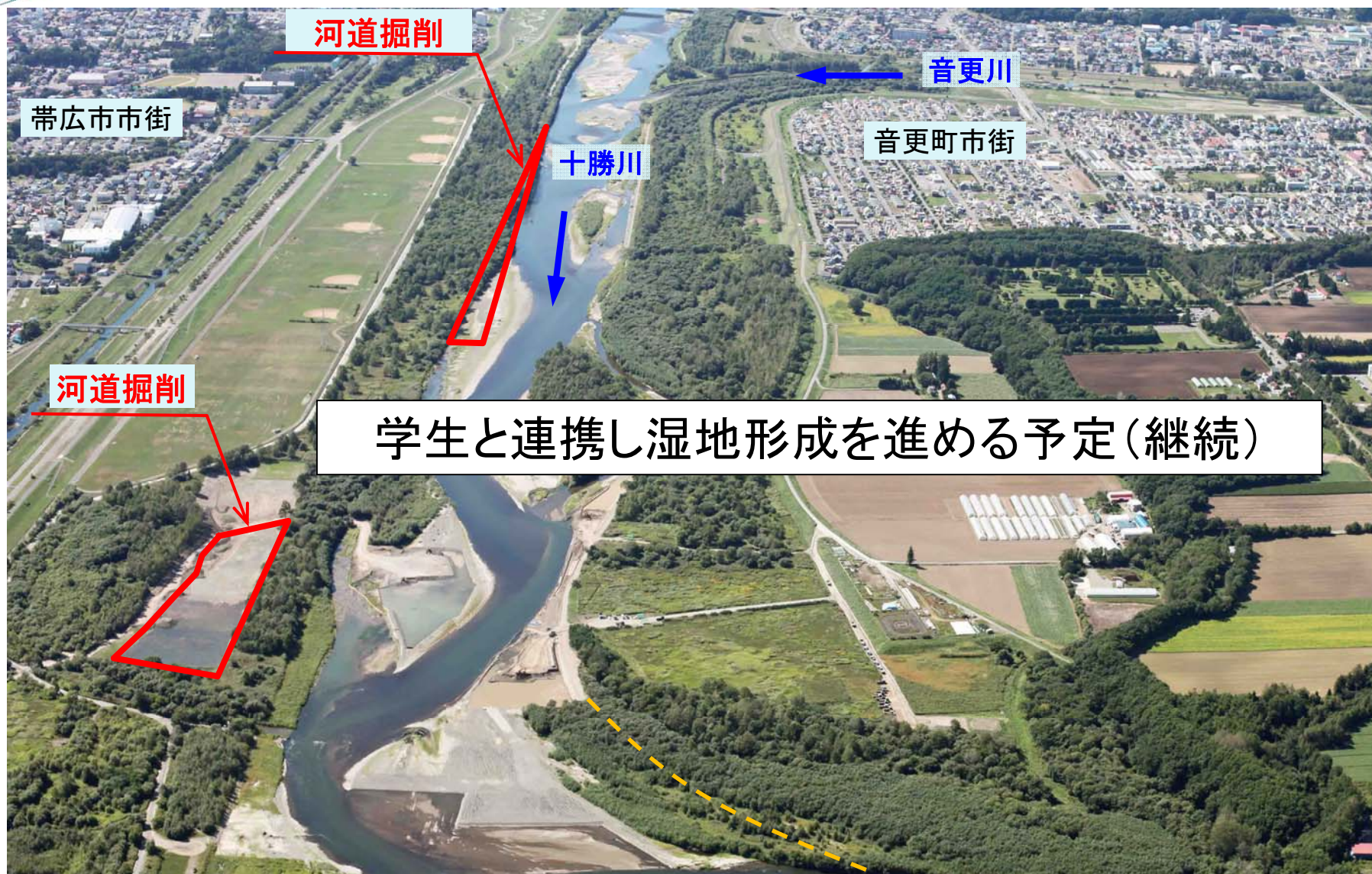
- 樹林を伐採後、掘削して浅場環境を形成する。
- 十勝エコロジーパーク下流の樹林の一部を疎林化する。

※具体的な実施については、今後、十勝エコロジーパークや北海道と調整

KP 47.2 河畔林伐採
平均年最大水位 平水位
音更町 帯広市
浅場環境の形成 河床及び右岸高水敷掘削

伐削区域凡例		掘削部凡例	
密→疎	河床掘削	河床掘削	河床掘削
伐開	平水位掘削	平水位掘削	平水位掘削
	高水敷掘削	高水敷掘削	高水敷掘削

現況写真2(河道掘削)



河道掘削

帯広市市街

十勝川

音更川

音更町市街

河道掘削

学生と連携し湿地形成を進める予定(継続)

平成24年9月撮影

川づくり(案)進捗状況(H26予定含む)

十勝川中流部川づくりワークショップ(H22.7-H24.3) 川づくり(案)

撮影:平成23年10月
作成:平成25年3月9日 第2回十勝川中流部川づくり報告会

合意事項 [音更川合流点より上流]

- 左岸側の樹林を伐採し草原環境へ
- 連続性確保のため河岸の樹木幅10m程度を保全
- 中洲や河道内の河原は現状を維持し、掘削は行わない

KP 57.4 左岸河畔林を伐採
河岸側の樹木は保全(10m程度)
音更町

合意事項 [音更川合流点下流①]

- 左岸側(音更側)の樹林を伐採し、草原環境へ(河岸側10m程度の樹木及びケショウヤナギ林を含む大型樹林は保全)
- 右岸側(帯広側)の河岸を平水位で掘削(幅30~40m程度)

KP 55.2 ケショウヤナギを含む大型樹林を保全(幅30m程度)
樹木を伐採
音更町
帯広市側を平水位で掘削(幅30~40m程度)

合意事項 [相生中島上流左岸]

- 左岸側(音更側)の河岸を、樹木の連続性に配慮しつつ平水位で掘削。
- 樹林の分断される箇所では、連続性を確保するため樹林再生の試行的な取り組みを実施する。

【施工直後】→【施工後約10年のイメージ】

H25完了

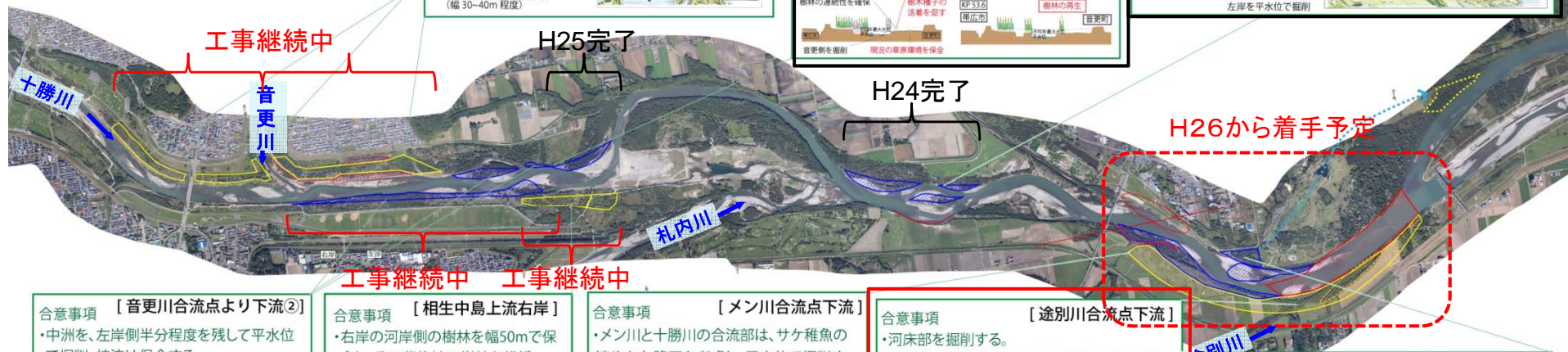
KP 53.6 野生動物の移動に配慮し樹木の連続性を確保
表土を除去し、樹木種子の活着を促す
樹林の再生
音更町

合意事項 [相生中島より下流]

- 中洲については、樹林化している部分(中洲の半分程度)を平水位で掘削し、河原環境の形成により再樹林化を防止する。
- 右岸側にシウドウツバメの集団営巣地があるため、左岸側を平水位で掘削する。

H24完了

KP 50.6 左岸と中洲を平水位で掘削
河原化
音更町



合意事項 [音更川合流点より下流②]

- 中洲を、左岸側半分程度を残して平水位で掘削。枝流は保全する。
- 併せて、河原環境の形成を図るとともに再樹林化を抑制する。

KP 54.4 枝流を保全
右岸を平水位で掘削 中洲を平水位で掘削
音更町

合意事項 [相生中島上流右岸]

- 右岸の河岸側の樹林を幅50mで保全し、その背後地の樹林を伐採。
- 再樹林化を防止するために、掘削して湿地環境を形成する。

KP 53.6 河岸側を50m幅で保全
樹木伐採 樹木の連続性を確保
音更町
湿地環境とし再樹林化を防止 音更側を掘削

合意事項 [メン川合流点下流]

- メン川と十勝川の合流部は、サケ稚魚の速やかな降下を考慮し、平水位で掘削するとともに、メン川沿いの樹木は保全する。
- 平均年最大水位程度で右岸高水敷を掘削するとともに、再樹林化を防止するため、地域との調整を図った上で、凹凸を付けて多様な湿地を含む環境をつくる
- 施工中の十勝川温泉側からの景観を考慮し、中洲の樹林の一部を10m程度の幅で残しながら施工する。

KP 47.8 川側樹林は全て保全堤防側は約10m幅で保全
平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出
音更町 帯広市

合意事項 [途別川合流点下流]

- 河床部を掘削する。
- 右岸側の高水敷については、現況の水域が極力残されるよう、水域周辺の樹木の内、川側を全て保全、堤防側を幅10mで保全し、その他の部分を平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出する。

KP 47.8 草原環境とする
平均年最大水位 平水位
音更町 帯広市

合意事項 [十勝川温泉より下流]

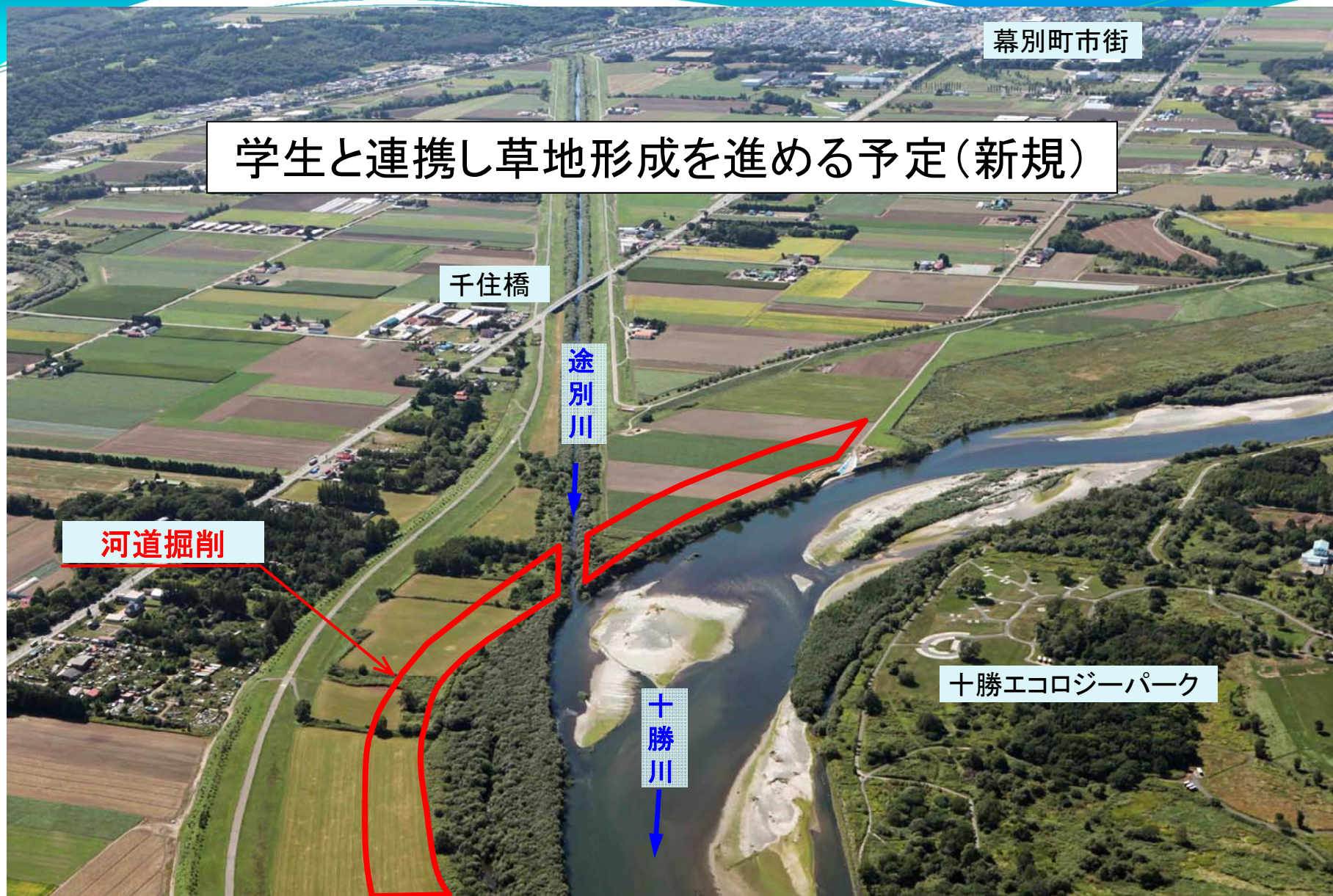
- 樹林を伐採後、掘削して浅場環境を形成する。
- 十勝エコロジーパーク下流の樹林の一部を疎林化する。

※具体的な実施については、今後、十勝エコロジーパークや北海道と調整

KP 47.2 河畔林伐採
浅場環境の形成 河床及び右岸高水敷掘削
音更町 帯広市



現況写真3(河道掘削)



平成24年9月撮影

次年度以降の動き

- 工事が完了している箇所について現地確認を行う。
- 引き続き、教育機関と連携し、草地環境・湿地環境の形成を行う。
- 十勝川中流部における工事について確実に実施する。